

がんばろう！東北

緊急情報／防災情報

平成23年4月21日14:00
東北地方整備局

【防災情報】（記者発表）東北地方整備局地震災害情報（第66報）

国土交通省東北地方整備局は、平成23年3月11日14時46分に三陸沖を震源とする地震が発生したため、災害対策本部(非常体制)を設置しました。

東北地方整備局の対応状況は次のとおりです。

1. 地震概要

発生日時：平成23年3月11日14時46分
震源：三陸沖
規模：マグニチュード9.0
地震名：「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」
大津波警報：青森県日本海沿岸
(3/12 13:50津波注意報に切替、3/12 20:20に解除)
青森県太平洋沿岸、岩手県、宮城県、福島県
(3/12 20:20津波警報に切替、
3/13 7:30津波注意報に切替、3/13 17:58解除)

2. トピックス

- ・“東日本大震災後、初のコンテナ船入港”
東北地方の大太平洋側港湾で、初めてコンテナ航路が再開され、4月23日（土）7時30分に、八戸港の八太郎地区2号ふ頭J岸壁にコンテナ船〔井本商運の749総トン型、「まいこ」（250TEU積み）〕が接岸し、機械部品等のコンテナ（40ft、43本）を積み込み、京浜港へ向かいます（別添資料参照）。
- ・国営みちのく杜の湖畔公園については、一部区域の応急復旧完了により、4月25日（月）から部分開園予定となっております。
詳細については、国営みちのく杜の湖畔公園事務所ホームページをご覧ください。（URL：<http://www.thr.mlit.go.jp/m-park/>）

3. 被災情報及び復旧状況

【河川関係】

- ・5河川（阿武隈川・名取川・北上川・馬淵川、鳴瀬川）、1,195箇所（クラック、天端陥没、法崩れ、堤防沈下）。詳細は別紙－1。
- ・堤防の流出や堤防の天端の沈下等が確認された箇所について随時緊急復旧工事に着手中。詳細は別紙－2。
- ・3/28から北上川（石巻市釜谷地区）で排水ポンプ車16台により排水を実施。

【道路関係】

- ・全面通行止め：2路線15箇所（6,45号）
- ・本線片側交互通行：2路線2箇所（6,45号）
- ・三陸沿岸都市等へのアクセスとなる15のルートが、太平洋沿岸に到達。
- ・気仙大橋（岩手県陸前高田市）や小泉大橋（宮城県気仙沼市）などの仮橋設置を実施するとともに、さらに、損傷箇所における本復旧を推進。
- ・詳細は別紙－3。

【港湾関係】

- ・10港湾（八戸港、久慈港、宮古港、釜石港、大船渡港、石巻港、仙台塩釜港（仙台港区）、仙台塩釜港（塩釜港区）、相馬港、小名浜港）にて防波堤損壊等を確認。詳細は別紙－4。
- ・太平洋側10港については、係留施設が復旧し、一部施設による緊急物資輸送対応が可能。詳細は別紙－5。
- ・中部地方整備局所属の海洋環境船「白龍」は、第二管区海上保安部の要請を受け、22日、仙台塩釜港に入港し、23日より仙台湾沿岸区域の漂流物の回収・陸揚げを行う予定。また、関東地方整備局所属の海洋環境船「べいくりん」も22日10:30、仙台塩釜港に入港し、23日より仙台湾沿岸区域の漂流物の回収・陸揚げを行う予定。詳細は別紙－6。

【官庁施設】

- ・3月11日の地震で被害が確認された施設については、二次被害防止の安全対策等を指導済み。
- ・引き続き余震による被害状況を確認。

【国営みちのく杜の湖畔公園】

- ・一部区域の応急復旧完了により、4月25日（月）から部分開園予定。
詳細については、国営みちのく杜の湖畔公園事務所ホームページ参照。
(URL：<http://www.thr.mlit.go.jp/m-park/>)

4. 緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）の活動状況

TEC-FORCEは、4/19までに延べ4,622名が活動。

（被災状況調査）

- ・河川、道路、海岸、下水道、建築物の公共施設（要請のあった自治体施設含む）について、4/19までに延べ950班2,638名（3/13～4/19）を派遣し、被災状況調査を実施。本日は、海岸の被害調査等を実施。
- ・港湾関係については、4/7までに延べ65班236名を投入。

（通信支援）

- ・衛星通信車、Ku-SATによる衛星通信路の確保、被災現場の映像伝送等の支援のため、4/19までに延べ582班605名（3/13～4/19）を派遣。

（応急対策）

- ・排水ポンプ車、照明車等による行方不明者の搜索活動及び早期復興への支援、浸水区域の排水計画検討等のため、4/19までに延べ567班1,143名（3/12～4/19）を派遣。

5. 防災エキスパートの対応状況

- ・防災エキスパート（(社)東北建設協会、(社)関東建設弘済会、(社)北陸建設弘済会、(社)中部建設協会、(社)近畿建設協会、(社)中国建設弘済会、(社)四国建設弘済会、(社)九州建設弘済会）が、管内の9事務所及び自治体において災害対応の支援を実施。

（延べ1,808名、内自治体へのリエゾン525名）（4月20日現在）

6. 県・自治体等への応援

- ・リエゾンを宮城県庁、岩手県庁、福島県庁ほか、各県の市町村（15市7町2村）を含め計65名を派遣。（4月20日現在）
- ・防災ヘリ画像の提供や照明車などの各県が不足している資機材を提供。
- ・石巻市から要望のあった給水車については現在稼働中。
- ・要請を受け、排水ポンプ85台、照明車42台、対策本部車8台、待機支援車14台、衛星通信車7台、Ku-SAT15台が移動及び稼働中。（4月20日18:00現在）

<記者発表先：宮城県政記者会、東北電力記者クラブ、東北専門記者会>

問い合わせ先

東北地方整備局	TEL:022-225-2171(代)
[総括]	企画部長 川嶋 直樹 (内線3111)

東日本大震災後、初のコンテナ船が八戸港に入港

東北地方の大平洋側港湾で、初めてコンテナ航路が再開され、4月23日(土)7時30分に、八戸港の八太郎地区2号埠頭J岸壁(下図参照)にコンテナ船が接岸し、機械部品等のコンテナ(40ft、43本)を積み込み、京浜港へ向かいます。

○入港船舶

輸送船社: 井本商運(株)

船名: 「まいこ」

総トン数: 749トン(GT)

最大積載個数: 250TEU

○入港日時、岸壁等(下図参照)

入港日時: 4月23日(土)7:30(予定)

岸壁: 八太郎地区2号埠頭J岸壁

※日時は、変更になる場合があります。

コンテナ船「まいこ」及び接岸位置図

寄港ルート

京浜港 - 苫小牧港 - 八戸港 - 京浜港



東北地方太平洋沖地震 直轄河川関係 被災状況

4月21日 10時00分 現在

水系	箇所数	備考
馬淵川	13	
北上川	646	
鳴瀬川	364	
名取川	35	
阿武隈川	<u>137</u>	
合計	<u>1,195</u>	

緊急復旧工事 一覧

2011年4月21日 10時現在

河川名(距離標)	市町村	復旧地区名	復旧延長	着手月日	完了月日	※兼用堤の交通確保		備考
						対象	確保	
阿武隈川上流右岸11km付近	伊達市梁川	東根川地区	L=290m	3月13日	(緊急復旧2011/3/13) 継続して本復旧中			
北上川下流右岸4km付近	石巻市針岡	釜谷地区	L=1,100m	3月14日		○	済み	
北上川下流左岸0km付近	石巻市北上町十三浜	月浜地区	L=3,770m	3月15日		○	済み	
阿武隈川下流右岸22km付近	角田市坂津田	坂津田地区	L=80m	3月16日		○	済み	
江合川左岸27km付近	大崎市古川瀧尻	江合橋下流地区	L=309m	3月16日	4月2日	○	済み	
江合川左岸26km付近	大崎市古川瀧尻	瀧尻地区	L=778m	3月17日	4月8日			
鳴瀬川左岸30km付近	大崎市古川下中ノ目	下中ノ目地区	L=320m	3月16日				
江合川右岸27km付近	大崎市古川福沼	福沼地区	L=213m	3月17日	4月4日			
江合川右岸14km付近	涌谷町中島乙	桜町地区	L=609m	3月19日	4月7日			
阿武隈川右岸31km付近	角田市枝野	枝野地区	L=800m	3月20日				
阿武隈川右岸32km付近	丸森町小斉	小斉地区	L=270m	3月20日		○	済み	
鳴瀬川左岸11km付近	美里町二郷	砂山地区	L=220m	3月24日	4月6日			
鳴瀬川左岸29km付近	大崎市古川下中ノ目	下川原地区	L=300m	3月24日	4月9日			
江合川左岸14km付近	涌谷町上谷地	上谷地地区	L=650m	3月25日	4月10日			
鳴瀬川左岸20km付近	美里町練牛	和多田沼地区	L=67m	3月26日				
阿武隈川左岸29km付近	角田市野田	野田地区	L=330m	3月27日				
江合川左岸21km付近	美里町平針	平針下流地区	L=170m	3月29日	4月12日			
江合川左岸22km付近	美里町平針	平針上流地区	L=220m	3月29日	4月11日			
新江合川右岸3km付近	大崎市楡木	中谷地地区	L=170m	4月6日				
吉田川左岸15km付近	大崎市鹿島台	上志田地区	L=144m	4月6日				
吉田川左岸15km付近	大崎市鹿島台	上志田地区	L=98m	4月6日				
鳴瀬川右岸12km付近	大崎市鹿島台	木間塚地区	L=70m	4月7日				
阿武隈川右岸0km付近	亶理町荒浜	荒浜地区	L=270m	4月7日				
仙台湾南部海岸5km付近	山元町中浜	中浜地区	L=1,790m	4月11日				
仙台湾南部海岸4km付近	山元町中浜	中浜地区	L=1,770m	4月11日				
仙台湾南部海岸2km付近	山元町中浜	中浜地区	L=1,730m	4月11日				
仙台湾南部海岸1km付近	山元町中浜	中浜地区	L=1,210m	4月11日				
仙台湾南部海岸8km付近	山元町笠野	笠野地区	L=920m	4月11日				
仙台湾南部海岸7km付近	山元町笠野	笠野地区	L=780m	4月11日				
仙台湾南部海岸10km付近	岩沼市蒲崎	蒲崎地区	L=370m	4月11日				
仙台湾南部海岸10km付近	岩沼市蒲崎	蒲崎地区	L=380m	4月11日				
仙台湾南部海岸9km付近	岩沼市蒲崎	蒲崎地区	L=280m	4月11日				
仙台湾南部海岸9km付近	岩沼市蒲崎	蒲崎地区	L=530m	4月11日				
仙台湾南部海岸8km付近	岩沼市蒲崎	蒲崎地区	L=540m	4月11日				
北上川下流左岸2km付近	石巻市北上町	月浜地区	水門	4月16日				
北上川下流左岸36km付近	登米市東和町	米谷地区	樋管	4月16日				
北上川下流右岸29km付近	大崎市古川	福浦地区	L=160m	4月16日				
鳴瀬川右岸0km付近	東松島市野蒜	野蒜地区	L=420m	4月17日				
北上川右岸1km付近	石巻市釜谷	釜谷地区	水門	4月17日				
鳴瀬川右岸30km付近	大崎市松山	下伊場野地区	L=240m	4月17日				

※備考欄の○印は孤立集落解消、物資輸送等に寄与する緊急復旧工事で、交通開放が完了したもの。

道路被害状況 4月21日 14:00現在の情報

①引き続き、復旧を実施する区間

	路線	場所	被害状況	規制	対応状況
岩手県	45号	岩手県 山田町(239.9kp)	路面崩壊	全面通行止め(迂回路あり)	2車線確保に向けた対応
	45号	岩手県 釜石市(213.9~215.2kp)	盛土流出	全面通行止め(迂回路あり)	2車線確保に向けた対応
	45号	岩手県 陸前高田市 気仙大橋(151.9kp)	橋梁上部工流出	全面通行止め(迂回路あり)	仮橋設置対応
宮城県	45号	宮城県 気仙沼市 小泉大橋(111.7kp)	橋梁上部工流出	全面通行止め(迂回路あり)	仮橋設置対応
	45号	宮城県 石巻市河北町(67kp)	法面崩落	全面通行止め(迂回路あり)	復旧対策検討のため、地質調査中

②原発規制区間 (全面通行止め)

	路線	場所	被害状況
福島県	6号	福島県 南相馬市 太田川橋(272.9kp)	津波堆積物
	6号	福島県 南相馬市(266.5~269.2kp)	冠水
	6号	福島県 浪江町 西台橋(261.3kp)	ジョイント
	6号	福島県 双葉町(257.1kp)	段差
	6号	福島県 大熊町(251.7~252.2kp)	路面亀裂
	6号	福島県 富岡町 富岡橋(243.15kp)	津波堆積物
	6号	福島県 富岡町(239.2kp)	路面陥没
	6号	福島県 楳葉町(231.7kp)	段差
	6号	福島県 広野町(230.1kp)	法面崩落
	6号	福島県 広野町(228.2kp)	段差

③応急復旧完了区間

	路線	場所	被害状況	交通開放状況
岩手県	283号 仙人峠道路	岩手県 釜石市	橋梁に段差	3/17 開放
	45号	岩手県 野田村(341.6~344.7kp)	瓦礫	3/20 18:00 開放
	45号	岩手県 宮古市(277~279kp)	津波堆積物	3/19 18:00 開放
	45号	岩手県 宮古市(255.5kp)	津波堆積物	3/15 開放
	45号	岩手県 山田町(238.8~239.9kp)	津波堆積物、段差	3/23 16:20 開放
	45号	岩手県 大槌町(227.7kp)浪板橋	側道橋(歩道)流出 橋台背面盛土流出	3/19 18:00 開放
	45号	岩手県 陸前高田市(154.5kp)沼田跨線橋	橋梁上部工流出	3/25 17:00 開放
	45号	岩手県 陸前高田市(153.1~157kp)	津波堆積物 道路流出	3/25 17:00 開放
	45号	岩手県 陸前高田市(152.8kp)川原川橋	橋梁損傷	4/6 14:00 開放
	45号	宮城県 気仙沼市(111.5kp)外尾川橋	橋梁歩道部流出	4/4 15:00 開放
	45号	宮城県 気仙沼市(109.9kp)二十一浜橋	橋台背面盛土流出	4/4 15:00 開放
	45号	宮城県 南三陸町志津川町内(85.6kp)~気仙沼市本吉町内	冠水	3/17 11:00 開放
	45号	宮城県 南三陸町(102.6kp)歌津大橋	橋梁上部工流出	4/11 迂回路の直轄国道編入により通行可能
	45号	宮城県 南三陸町(92kp)水尻橋	橋梁上部工流出	3/19 7:40 暫定開放(片交) 及び夜間(19:00~5:00)通行止め
	45号	宮城県 石巻市(天王橋付近)(57.5~58.3kp)	路面沈下	3/23 15:00 開放
	45号	宮城県 石巻市内	冠水	3/15 開放
	三陸道	宮城県 鳴瀬奥松島IC~登米東和IC		3/30 6:00 開放
	45号	宮城県 東松島市(鳴瀬大橋)以北(43.4~44.7kp)	冠水	3/17 11:00 開放
	45号	宮城県 塩釜市杉の入~越の浦	冠水、津波堆積物	4/4 17:00 開放
	福島県	6号	宮城県 山元町坂元交差点付近(310.6kp)	路面陥没
6号		宮城県 山元町坂元(313.08~313.12kp)	クラック	3/13 16:00 開放
6号		福島県 新地町(306.5kp)	冠水	3/13 9:00 開放
6号		福島県 新地町(303.2kp)	段差	3/16 11:00 開放
6号		福島県 相馬市 相馬BP	30cm段差	3/17 開放
6号		福島県 相馬市(301.7~302.7kp)	段差	3/16 12:20 開放
6号		福島県 相馬市(298.04kp)	段差	4/6 6:00 開放
6号		福島県 南相馬市鹿島区(283.2kp)	津波冠水	3/13 15:00 開放
6号		福島県 南相馬市(282.2kp)	法面崩落	3/13 15:00 暫定開放(片交)
6号		福島県 いわき市(214.6~218.3kp)	津波堆積物 切土法面亀裂	4/10 13:00開放
6号		福島県 いわき市 住吉高架橋(192.1~192.4kp)	段差	3/12 19:20開放
6号		福島県 いわき市(190.1kp) 南富岡トンネル付近	路面陥没	3/12 14:45開放
6号		福島県 いわき市 六枚内(ろくまいうち)高架橋(188.5kp)	橋梁ジョイント段差 20cm	3/12 19:20 開放
6号		福島県 いわき市 宮ノ下高架橋(187kp)	橋梁ジョイント段差 30cm	3/12 19:20 開放
6号		福島県 いわき市(177~180kp)	津波	3/13 15:00 開放
6号	茨城県 日立市~いわき市勿来(149~176kp)	津波	3/13 7:00 開放	
宮城県	4号	福島県 福島市伏拝(ふしおがみ)(266.3kp)	法面崩落 車3台巻き込まれている 3台のドライバーの被害はない。 現地でKu-SAT中継中	3/18 18:00 開放
	108号	宮城県 石巻市	津波	3/14 開放

「くしの歯」作戦図

東北地方太平洋沖地震による通行止め状況等について 平成23年4月21日(木) 14時00分 現在

～国道4号から各路線経由で国道45号及び国道6号までの啓開状況の確認結果～

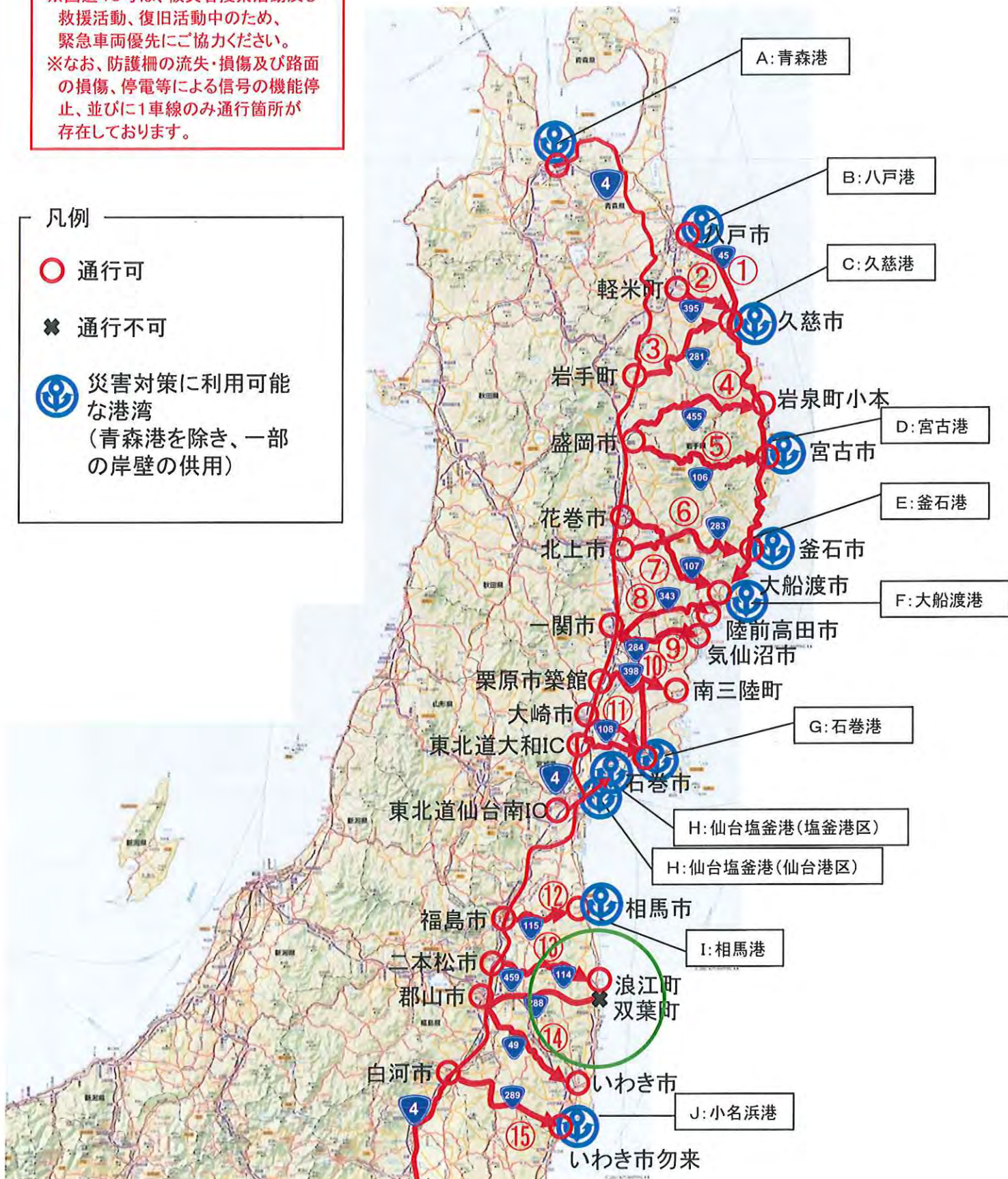
※国道45号は、被災者捜索活動及び
 救援活動、復旧活動中のため、
 緊急車両優先にご協力ください。
 ※なお、防護柵の流失・損傷及び路面
 の損傷、停電等による信号の機能停
 止、並びに1車線のみ通行箇所が
 存在しております。

凡例

○ 通行可

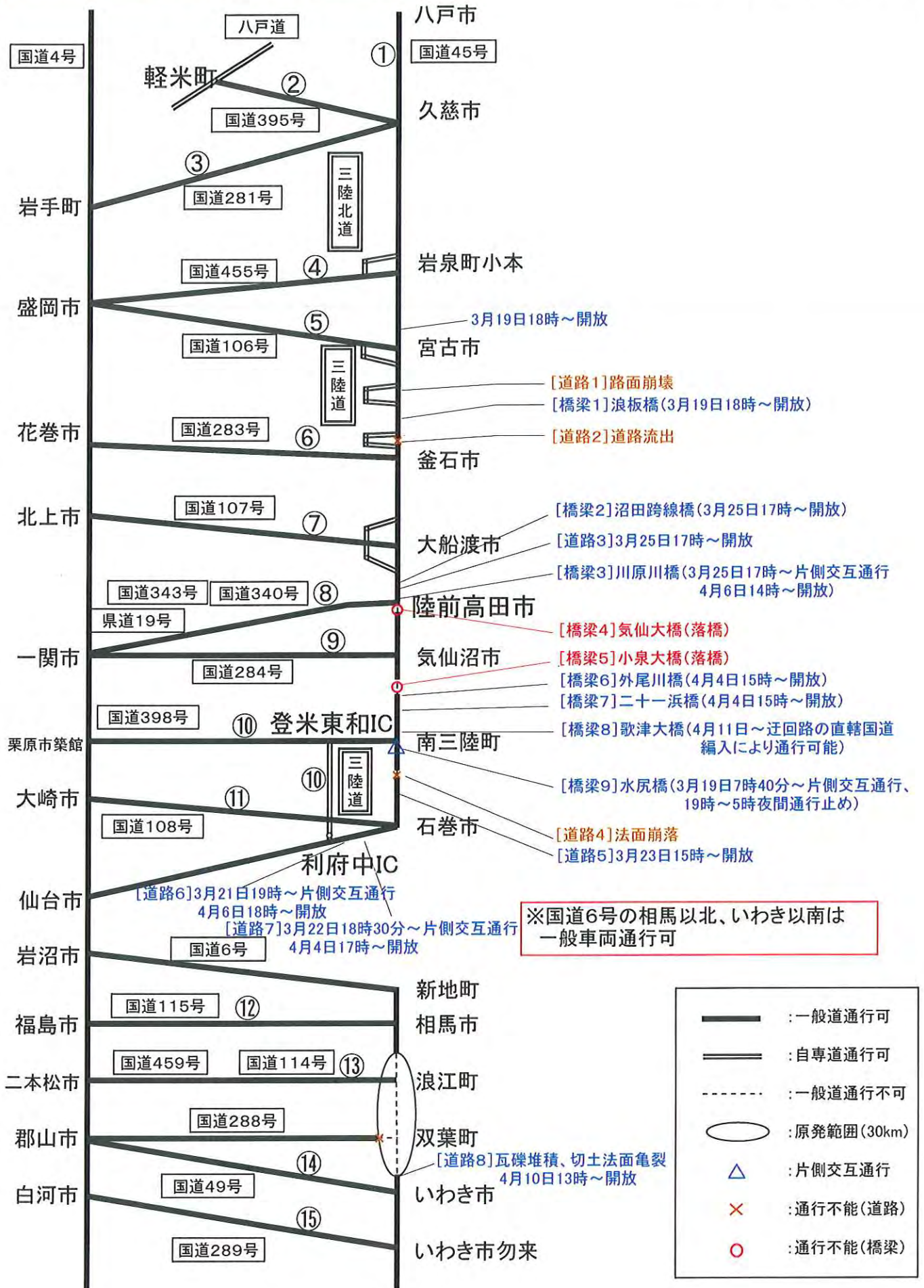
✖ 通行不可

Ⓜ 災害対策に利用可能
 な港湾
 (青森港を除き、一部
 の岸壁の供用)



※国道45号は、被災者捜索活動及び救援活動、復旧活動中のため、緊急車両優先にご協力ください。

4月21日(木)14:00現在



港名	被災の概略
青森	<ul style="list-style-type: none"> 港の被害は、特に認められない。
むつ小川原	<ul style="list-style-type: none"> 陸上からの目視確認では異常なし (青森県むつ小川原港管理事務所からの情報)
八戸	<ul style="list-style-type: none"> 外港地区防波堤(中央)の南側端部ケーソン1函の転倒・水没。 外港地区防波堤(第二中央)の南側端部ケーソン1函の転倒・水没。 八太郎地区北防波堤堤頭部を残して水没しているが、航路は確保出来ている。 八太郎地区北防波堤のハネ部700mのケーソン転倒・水没、中央部1100mの多数のケーソン転倒(歯抜け状態)。 八太郎2号ふ頭(コンテナターミナル)のガントリークレーンは、電気設備冠水のため点検検査待ち。 八太郎3号ふ頭(フェリーふ頭)において被災したトレーラーがあるが通行可能。 八太郎地区3号ふ頭(フェリーふ頭)の可動橋及び人道橋は、冠水したため点検検査待ち。 ポートアイランドは、護岸ケーソン3函が倒壊しているが、大きな土砂の流失は無し。 河原木地区2号ふ頭のフェンスおよび緑地護岸フェンス倒壊。大平洋金属の建屋倒壊。 恵比須浜地区の漁港付近にコンテナ1基が漂着。
久慈	<ul style="list-style-type: none"> 湾口防波堤は本体異常なし、消波工沈下有り。 諏訪下地区 岸壁(-7.5m)の渡版が大部分飛散、その他岸壁の陸上部は異常なし。海上部は異常なし 玉の脇地区 物揚場(-3m)一部倒壊 玉の脇地区 南護岸の一部倒壊 玉の脇地区 北防波堤及び内防波堤全壊 (職員による目視確認) 半崎地区岸壁(-5m) 異常なし 半崎1号護岸 基部の根固及び被覆ブロックが被災 終端部のパラペットの転倒倒壊あり 半崎2号護岸 異常なし 半崎3号護岸 3cmの目地開きが2箇所有り 半崎4号護岸 護岸背後に根固めブロックとみられる塊の散乱がある。 半崎-4m物揚場 エプロンは土砂が被っている。エプロン背後の地盤に穴を確認 半崎突堤式物揚場先端護岸 エプロンに7cm程度の段差多数有り、破損箇所も有り 臨港道路湾岸線 路肩崩壊、海側護岸のパラペットの損壊箇所有り (テックフォースによる調査)
宮古	<ul style="list-style-type: none"> 鎌ヶ崎地区出崎防波堤 水没 藤原・神林地区 神林地区防波堤全延長(562m)のうち、7・8割が損壊。 船溜の防波堤は、一部が水面上に確認できるが、ほぼ倒壊。 藤原防波堤(I)は、先端部10~20m(灯台含む)が水没。 竜神崎防波堤の西側(浄土ヶ浜側)2函が水没、東側1~2函が水没。 (職員による目視確認、ヘリ画像により確認) 出崎ふ頭一万屯岸壁 エプロン沈下10cm程度 出崎ふ頭-4m物揚場 延長50m程度5cm前傾 出崎ふ頭-3m物揚場 エプロン背後に吸い出しあり 出崎ふ頭-2m物揚場 エプロンの沈下と約30m間に6cmの護岸法線のはらみ出しあり。 藤原第一ふ頭-7.5m岸壁 エプロン10cm程度陥没、エプロン下空洞あり 藤原第一ふ頭-4.5m岸壁 係船柱1基破損 藤原第一ふ頭-12m岸壁 海側先端部に空洞と沈下あり 藤原第一ふ頭岸壁取付先端 異常なし 藤原第二ふ頭-7.5m岸壁 異常なし 藤原第二ふ頭-10m岸壁 南側バースの背後荷捌き地で陥没2箇所、また、アスファルト塊と土砂が散乱 鎌ヶ崎地区-5.0m岸壁 エプロン沈下10cm程度 (テックフォースによる調査)

釜石	<ul style="list-style-type: none"> ・湾口防波堤 北堤完全崩落、南堤は傾斜 ・須賀-4m1号物揚場 はらみ出し10cm程度 ・須賀-7.5m岸壁渡版めくれ、移動あり ・埋立護岸 取付部沈下20cm程度 ・須賀-4.5m岸壁 取り付け部斜路消失 ・須賀-3m及び-2m物揚場は異常なし ・須賀-11m岸壁 法線前だし8cm、沈下10cm、エプロンの目地の開き6cm ・須賀-7.5m岸壁 法線前だし8cm、沈下7cm ・須賀地区東西2号線 異常なし ・須賀地区東西3号線・南北5号線・6号線 表層アスファルトが大きくめくれている。 ・南棧橋(ドルフィン) FD乗り上げている。 ・南棧橋 北棧橋 異常なし ・泉防波堤 南防波堤 異常なし <p>(テックフォースによる調査)</p>
大船渡	<ul style="list-style-type: none"> ・湾口防波堤(北)及び(南)は目視で位置確認(消失)できない。 ・野々田地区岸壁(-13m)荷捌地で最大30cm沈下している。 ・野々田地区岸壁(-7.5m)異常なし ・野々田地区岸壁(-4.5m)上部コンクリート隆起、裏込石流出している。 <p>(テックフォースによる調査)</p>
石巻	<ul style="list-style-type: none"> ・日和10,000t岸壁(-9m)は、エプロン部に10～30cm程度の沈下と吸い出しが原因と考えられる深さ80cm程度の部分的な陥没が認められる。 ・日和15,000t岸壁(-10m)は、上部工背後のエプロンに15cm～1.0m程度の沈下と隆起が認められる。 ・大手5,000t岸壁(-7.5m)は、エプロンの沈下が認められる。 ・大手2,000t岸壁(-5.5m)は、エプロンの沈下及び液状化と思われる痕跡が認められる。 ・雲雀野中央1号、2号岸壁エプロンに1m程度の沈下が生じている。 ・雲雀野岸壁(-10m)エプロンに1m程度の沈下が生じている。 ・臨港道路雲雀野中央線の路肩部が大規模に崩落している。 <p>(テックフォースによる調査)</p>
仙台塩釜港 (仙台港区)	<ul style="list-style-type: none"> ・高松ふ頭岸壁(-12m)エプロンの一部が3cm沈下している。アクセス道路は通行可。 ・高松ふ頭第1～第8号岸壁(-4.5m)及び中野ふ頭第1～第4岸壁にエプロン沈下及び隆起が認められるが、軽微な補修で使用可能。アクセス道路は通行可。 ・中野ふ頭5号6号、フェリーふ頭1号2号岸壁は異常なし。 ・雷神ふ頭1～3号岸壁のエプロンの一部に10cm程度の沈下あり。 ・高砂ふ頭1号岸壁(-12m)エプロン部に数箇所沈下があり、大規模な補修が必要。2号岸壁はエプロン部全体が1m程度沈下、舗装版下に空洞も有り。 ・高砂ふ頭2号岸壁(-14m)取付部は、終点部法線がはらみ出しに伴う背後の崩落があり、大規模な補修が必要。 ・船上からの確認で、ガントリークレーン1基(終点側)に損傷が認められる。 <p>(テックフォースによる調査)</p>
仙台塩釜港 (塩釜港区)	<ul style="list-style-type: none"> ・貞山ふ頭1号岸壁(-9m)は、エプロン部に約20cmの陥没があり、大規模な補修が必要。 ・貞山ふ頭2号棧橋(-9m)は、エプロン部に約18cmの沈下が認められるが、軽微な補修で使用可。 ・貞山ふ頭3号棧橋(-7.5m)は異常なし。 ・東ふ頭岸壁(E1)は多少前傾している。 ・東ふ頭護岸はエプロンが沈下し大規模な補修が必要。 <p>(テックフォースによる調査)</p>
相馬	<ul style="list-style-type: none"> ・2号ふ頭1～3バース:エプロン沈下 ・3号ふ頭:先端護岸、仮護岸が決壊し、埋立土が流出 ・5号ふ頭(専用岸壁):荷役機械2基が傾いており、荷役中の石炭船が折れて沈没寸前。 ・臨港道路:2号岸壁(-12m)臨港道路使用可。 ・航路・泊地:未確認 (福島県からの情報提供) ・防波堤(沖)は、遠方からの目視で、50%以上で転倒の可能性がある。 ・第1船だまり物揚場に被害は見られない。 ・1号埠頭第1岸壁、第4岸壁は部分的に倒壊があり大規模な補修が必要。 ・1号埠頭第2岸壁、第3岸壁は部分的に倒壊が見られ、エプロンに30cm程度の段差があるが、一部は使用可能。 <p>(テックフォースによる調査)</p>

小名浜	<ul style="list-style-type: none"> ・沖防波堤は被災なし。第2沖防波堤は目視では確認できない。その他港内の防波堤は一部被災している模様。 ・3号ふ頭:3-1～3-2はらみだし。ふ頭先端側に液状化が発生 ・5号ふ頭(耐震強化岸壁):岸壁先端部にアンローダアームが突き出ているため全延長の使用はできないが、利用可能。 ・6号ふ頭地区14m岸壁は荷役機械は大きな損傷無し。エプロンは使用可能であるが、背後地が沈下している。 ・5・6号ふ頭先端護岸のはらみだしが進行。 ・7号ふ頭:7-2バースの一部の陥没が進行。 ・臨港道路は一部を除いて通行可 (職員の目視による確認) ・1号ふ頭:舗装剥離 ・1・2号ふ頭:ボードウォーク陥没。 ・3号ふ頭:荷役機械のレールが変形、野積場が20cm程度陥没、3-5バースに台船が乗り上げ岸壁破損。 ・4号ふ頭:全てのエプロンが沈下。 ・5・6号先端護岸エプロン沈下、はらみだし。 ・5・6号ふ頭内道路不陸、段差。 ・7号ふ頭:7-1～7-2バースのケーソンが動いた形跡あり。荷役機械のレールが変形。エプロン背後が全延長にわたり、50cm程度陥没。クレーン破損。 ・大剣ふ頭:エプロン背後が全延長にわたり陥没。ガントリークレーン破損。 ・漁港区:棧橋に漁船が乗り上げ破損。舗装クラック ・いわきサンマリーナ:浮き棧橋が全て流出。釣り棧橋破損 (福島県からの情報提供)
能代	被災なし。
船川	被災なし。
秋田	被災なし。
酒田	被災なし。

岸壁の航路啓開作業進捗状況

別紙-5

平成23年4月21日(木) 10時現在

港名	岸壁		航路		船舶入港可否 (海上保安部確認)	備考
	利用可能な岸壁の候補	使用可否	現地調査	航路啓開作業		
八戸港	八太郎地区A岸壁(-7.5m)	○	○	○	○	
	八太郎地区B岸壁(-7.5m)	○	○	○	○	
	八太郎地区C岸壁(-10m)	○	○	○	○	
	八太郎地区D岸壁(-13m)	○	○	○	○※	管理者と保安部の調整により、水深10.0mで暫定使用可
	八太郎地区E岸壁(-13m)	○	○	○	○※	管理者と保安部の調整により、水深10.0mで暫定使用可
	八太郎地区F岸壁(-10m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、水深7.4mで暫定使用可
	八太郎地区G岸壁(-10m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、水深8.8mで暫定使用可
	八太郎地区H岸壁(-7.5m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、水深7.0mで暫定使用可
	八太郎地区I岸壁(-7.5m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、水深7.0mで暫定使用可
	八太郎地区J岸壁(-13m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、水深10.0mで暫定使用可
	八太郎地区L岸壁(-7.5m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、水深6.0mで暫定使用可
	八太郎地区M岸壁(-7.5m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、水深6.0mで暫定使用可
	八太郎地区N岸壁(-7.5m)[耐震]	○	○	○	○※	管理者と保安部の調整により、水深5.5mで暫定使用可
	八太郎地区O岸壁(-7.5m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、水深5.5mで暫定使用可
	八太郎地区P岸壁(-12m)	○	○	○	○※	管理者と保安部の調整により、水深10mで暫定使用可
	八太郎地区フェリー岸壁(-7.5m)	○	○	○	○	
	河原木地区E岸壁(-5m)	○	○	○	○	
	河原木地区2号A岸壁(-14m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、水深12.5mで暫定使用可
	河原木地区2号栈橋(-7.5m)	△	○	○	○	陸上部は配管点確認中。海上部は管理者と保安部の調整により、水深6.0mで暫定使用可
	河原木地区3号栈橋(-7.5m)	△	○	○	○	陸上部は配管点確認中。海上部は管理者と保安部の調整により、水深6.4mで暫定使用可
	河原木地区4号栈橋(-7.5m)	△	○	○	○	陸上部は配管点確認中。海上部は管理者と保安部の調整により、水深6.6mで暫定使用可
	河原木地区5号栈橋(-7.5m)	△	○	○	○	陸上部は配管点確認中。海上部は管理者と保安部の調整により、水深6.0mで暫定使用可
	河原木地区6号栈橋(-6.5m)	△	○	○	○	陸上部は配管点確認中。海上部は管理者と保安部の調整により、水深6.1mで暫定使用可
	河原木地区石油栈橋(-7.5m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、水深6.7mで暫定使用可
	河原木地区第一工業港	○	○	○	○※	管理者と保安部の調整により、水深5.0mで暫定使用可
	白銀地区A岸壁(-9m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、水深8.0mで暫定使用可
	白銀地区B岸壁(-10m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、水深9.0mで暫定使用可
	白銀地区C岸壁(-7.5m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、水深7.0mで暫定使用可
	白銀地区2号岸壁(-6.5m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、水深4.8mで暫定使用可
	白銀地区3号岸壁(-5m)	○	○	○	○	
白銀地区4号岸壁(-5m)	○	○	○	○		
久慈港	諏訪下地区岸壁(-10m)	○	○	○	○	岸壁は全長185mのうち140m使用可、管理者と保安部の調整により、水深9.0mで暫定使用可
	諏訪下地区岸壁(-7.5m)1号岸壁	○	○	○	○	
	諏訪下地区岸壁(-7.5m)2号岸壁	○	○	○	○	
	諏訪下地区岸壁(-7.5m)3号岸壁	○	○	○	○	
	諏訪下地区諏訪下第二埠頭岸壁(-5.5m)×3バース	○	○	○	○	
	半崎地区岸壁(-5m)、物揚場(-4m)	○	○	○	○	
宮古港	藤原地区藤原第1ふ頭岸壁(-12m)	○	○	○	○※	
	藤原地区藤原第1ふ頭岸壁(-7.5m)×2バース	○	○	○	○※	
	藤原地区藤原第2ふ頭岸壁(-10m)×2バース	○	○	○	○※	管理者と保安部の調整により、水深8.5mで暫定使用可
	藤原地区藤原第2ふ頭岸壁(-10m)	○	○	○	○※	管理者と保安部の調整により、水深9.0mで暫定使用可
	藤原地区藤原第2ふ頭岸壁(-7.5m)×2バース	○	○	○	○※	
	出崎地区出崎ふ頭岸壁(-9m)	○	△	△	×	
	鞆ヶ崎地区岸壁(-5m)	○	△	△	×	
釜石港	須賀地区岸壁(-11m)	○	○	○	○※	
	須賀地区岸壁(-7.5m)[耐震]	○	○	○	○	
	須賀地区岸壁(-7.5m)	○	○	○	○	
大船渡港	永浜地区岸壁(-13m)	○	○	○	○	
	野々田地区岸壁(-13m)	○	○	○	○	
	野々田地区岸壁(-7.5m)×2バース	○	○	○	○	
	茶屋前地区岸壁(-9.0m)	○	○	○	△	

岸壁の航路啓開作業進捗状況

別紙-5

平成23年4月21日(木) 10時現在

港名	岸壁		航路		船舶入港可否 (海上保安部確認)	備考
	利用可能な岸壁の候補	使用可否	現地調査	航路啓開作業		
石巻港	釜地区日和埠頭6号岸壁(-9m)	○	○	○	○	
	釜地区日和埠頭7号岸壁(-10m)	○	○	○	○	
	釜地区中島埠頭1号岸壁(-5.5m)	○	○	○	○	
	釜地区中島埠頭2号岸壁(-10m)	○	○	○	○	
	釜地区中島埠頭3号岸壁(-10m)	○	○	○	○	
	釜地区大手埠頭1号岸壁(-7.5m)	○	○	○	○	
	釜地区大手埠頭2号岸壁(-7.5m)	○	○	○	○	
	釜地区大手埠頭3号岸壁(-5.5m)	○	○	○	○	
	釜地区大手埠頭4号岸壁(-5.5m)	○	○	○	○	
	釜地区大手埠頭5号岸壁(-5.5m)	○	○	○	○	
	雲雀野地区雲雀野中央ふ頭1号岸壁(-13m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、水深10.2mで暫定使用可
	雲雀野地区雲雀野中央ふ頭2号岸壁(-13m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、水深10.2mで暫定使用可
	雲雀野地区雲雀野北ふ頭岸壁(-10m)	○	○	○	○	
仙台塩釜港 (仙台区)	中野地区高松埠頭岸壁(-12m)[耐震]	○	○	○	○※	
	中野地区雷神埠頭1号岸壁(-7.5m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、水深6.5mで暫定使用可
	中野地区雷神埠頭2号岸壁(-9m)[一部耐震]	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、水深6.5mで暫定使用可
	中野地区フェリー埠頭1号(-8.5m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、水深7.4mで暫定使用可
	中野地区フェリー埠頭2号(-8m)	○	○	△	×	
	中野地区中野埠頭2号岸壁(-10m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、水深9.1mで暫定使用可
	中野地区中野埠頭3号岸壁(-10m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、水深8.5mで暫定使用可
	中野地区中野埠頭4号岸壁(-10m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、水深8.5mで暫定使用可
	中野地区中野埠頭6号岸壁(-10m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、水深7.8mで暫定使用可
	中野地区中野埠頭6号岸壁(-10m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、水深7.8mで暫定使用可
向洋地区向洋埠頭岸壁(-12.0m)	○	○	△	○	管理者と保安部の調整により、水深10.2mで暫定使用可	
仙台塩釜港 (塩釜港区)	貞山埠頭1号岸壁(-8.5m)	○	○	○	○	管理者に確認の上、利用可
	貞山埠頭2号岸壁(-9m)	○	○	○	○	管理者に確認の上、利用可
	貞山埠頭3号岸壁(-7.5m)	○	○	○	○	管理者に確認の上、利用可
	貞山埠頭4号岸壁(-7.5m)	○	○	○	○	管理者に確認の上、利用可
	東埠頭岸壁(-7.5m)×3バース	○	○	○	○	管理者に確認の上、利用可
	中埠頭東側棧橋(-7.5m)	○	○	○	○	管理者に確認の上、利用可
	中埠頭東側岸壁(-4.5m)×2バース	○	○	○	○	管理者に確認の上、利用可
	中埠頭西側棧橋(-4.5m)×2バース	○	○	○	○	管理者に確認の上、利用可
	西埠頭棧橋(-5.5m)×2バース	○	○	○	○	管理者に確認の上、利用可
	西埠頭棧橋(-4.5m)×2バース	○	○	○	○	管理者に確認の上、利用可
	西埠頭東側棧橋(-4.5m)	○	○	○	○	管理者に確認の上、利用可
	東宮埠頭岸壁(-5.5m)×2バース	○	○	○	○	管理者に確認の上、利用可
	油槽所前ドルフィン(-5.5m~-7.5m)×7バース	○	○	○	○	管理者に確認の上、利用可
相馬港	1号埠頭地区1号岸壁(-5.5m)	○	○	○	○※	管理者と保安部の調整により、管理者より岸壁使用が認められている船舶のみ使用可
	1号埠頭地区3号岸壁(-7.5m)	○	○	○	○※	管理者と保安部の調整により、管理者より岸壁使用が認められている船舶のみ使用可
	2号埠頭地区4号岸壁(-12m)	○	○	○	○※	管理者と保安部の調整により、管理者より岸壁使用が認められている船舶のみ使用可
小名浜港	6号埠頭地区第3号岸壁(-7.5m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、管理者より岸壁使用が認められている船舶のみ使用可
	7号埠頭地区第4号岸壁(-10m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、管理者より岸壁使用が認められている船舶のみ使用可
	藤原埠頭地区岸壁(-12m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、管理者より岸壁使用が認められている船舶のみ使用可
	藤原埠頭地区岸壁(-10m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、管理者より岸壁使用が認められている船舶のみ使用可
	大剣埠頭地区O-7岸壁(-7.5m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、管理者より岸壁使用が認められている船舶のみ使用可
	大剣埠頭地区O-8岸壁(-7.5m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、管理者より岸壁使用が認められている船舶のみ使用可
	大剣地区石油棧橋1号Aバース(-7.5m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、管理者より岸壁使用が認められている船舶のみ使用可
	大剣地区石油棧橋1号Bバース(-7.5m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、管理者より岸壁使用が認められている船舶のみ使用可
	大剣地区石油棧橋2号Aバース(-6.5m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、管理者より岸壁使用が認められている船舶のみ使用可
	大剣地区石油棧橋2号Bバース(-6.5m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、管理者より岸壁使用が認められている船舶のみ使用可
大剣埠頭地区高圧ガス棧橋(-6.5m)	○	○	○	○	管理者と保安部の調整により、管理者より岸壁使用が認められている船舶のみ使用可	

[耐震]:耐震強化岸壁

×:未着手
△:作業(調査)中
○:作業(調査)完了

※:緊急支援助物資等のみ使用可能

●詳細平面図は東北地方整備局HPの「くしの歯」接続点詳細図参照

海洋環境船『白龍』・『べいくりん』の概要

別紙-6

◇白龍◇

以下の行程で海面浮遊物の回収作業を行う。

◇4/22(金) 仙台塩釜港へ到着

◇4/23(土)～海面浮遊物の回収作業へ着手予定

1. 概要

◆通常は、伊勢湾及び三河湾内の環境保全と航行船舶の安全を図るため、海面に浮遊するゴミを回収する。また、大規模油流出事故が発生した場合は、海洋汚染防除のため、速やかに事故現場へ向かい、油回収業務を行う。さらに、水質・底質調査、海底地形探査等の調査を行う。

2. 所属

◆中部地方整備局 名古屋港湾事務所

3. 諸元

◆総トン数 196トン、全長 33.5m、速力 15.1kt



◇べいくりん◇

以下の行程で海面浮遊物の回収作業を行う。

◇4/22(金) 10:30、仙台塩釜港へ到着

◇4/23(土)～海面浮遊物の回収作業へ着手予定

1. 概要

◆通常は、東京湾の環境保全と航行船舶の安全を図るため、海面に浮遊するゴミや油を回収する。また、水質調査も行う。

2. 所属

◆関東地方整備局 千葉港湾事務所

3. 諸元

◆総トン数 199トン、全長 32.5m、速力 14kt

